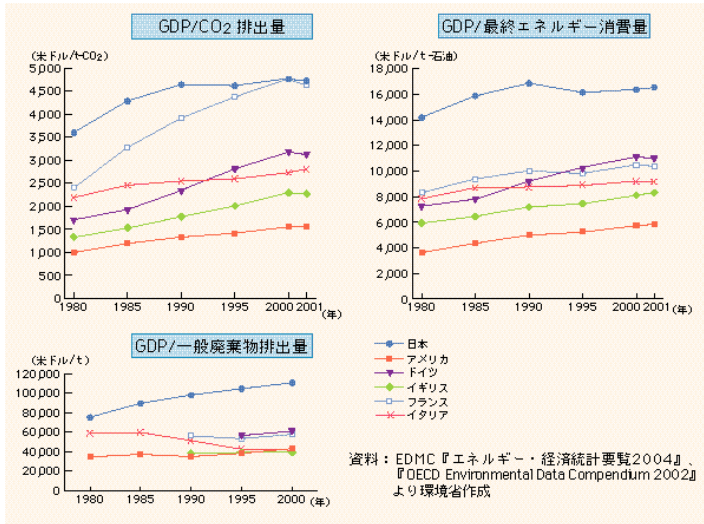


指標：環境効率性の推移(国際比較、指標別)

わが国の環境効率性は、他の諸国と比較しても極めて高い。これらの状況は、昭和48年の石油危機を契機として、大きく改善されている。

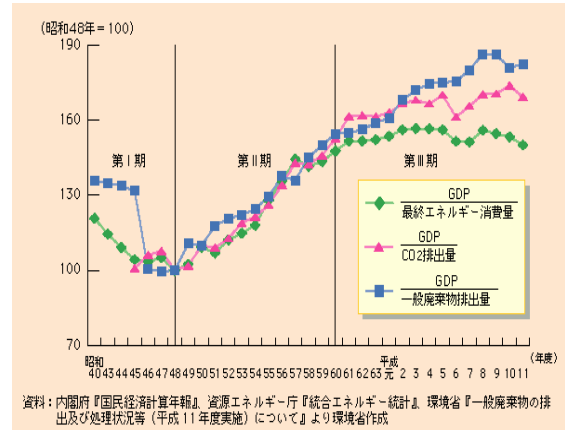
環境効率性の推移の国際比較



環境効率性 = 産出(生産物及びサービスの価値) / 投入(環境に対する圧迫)

(出典)「環境白書」より抜粋

環境効率性の推移(最終エネルギー消費量、CO₂排出量、一般廃棄物排出量)



第Ⅰ期：第1次石油危機が起こる昭和48年までの期間

第Ⅱ期：二度にわたる石油危機により、高度経済成長から安定的な経済成長にシフトした昭和48年から昭和60年までの期間

第Ⅲ期：地球環境問題が重大な課題として認識されるとともに、経済成長に関しては徐々に低成長に移行していった昭和60年以降の期間

(出典)「環境白書」より抜粋